

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公開番号】特開 2000-64976 (P2000-64976A)

【公開日】平成 12 年 3 月 3 日 (2000.3.3)

【出願番号】特願 平 11-206611

【国際特許分類】

**F 0 4 C 25/02 (2006.01)**

**F 0 4 C 18/16 (2006.01)**

【F I】

F 0 4 C 25/02 M

F 0 4 C 18/16 J

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 5 日 (2006.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ポンプ本体に取付けられた第 1 シャフト、及び第 1 シャフトから間隔を隔てられ且つそれと平行な第 2 シャフトを有し、

第 1 ロータが第 1 シャフトに取付けられ、第 2 ロータが第 2 シャフトに取付けられ、

各ロータの外面には少なくとも 1 つの螺旋羽根又はねじ山が形成され、シャフトの回転運動により、流体をポンプの入口から出口の方にポンピングさせるように、螺旋ばね又はねじ山は互いに噛合っている、スクリーポンプにおいて、

第 1 ベアリング装置が第 1 シャフトと関連し、第 2 ベアリング装置が第 2 シャフトと関連し、各ベアリング装置にベアリング支持体が設けられ、ベアリング支持体は各々ポンプ本体に、互いに独立に取付けられる、スクリーポンプ。

【請求項 2】 ロータは中空であり、前記ベアリング支持体は各中空ロータ内で延びる、請求項 1 に記載のスクリーポンプ

【請求項 3】 各ベアリング支持体は、2 つの間隔を隔てたベアリングを含むベアリング装置を収容する、請求項 1 又は 2 に記載のスクリーポンプ。

【請求項 4】 各ロータは実質的に円筒形である、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のスクリーポンプ。

【請求項 5】 各ロータは大直径からポンプ入口の方に又小直径からポンプ出口の方にテーパしている、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のスクリーポンプ。

【請求項 6】 ポンプ本体は、前記ベアリング支持体が取付けられるフランジを有する、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のスクリーポンプ。

【請求項 7】 前記フランジは、ポンプ本体と一体である、請求項 6 に記載のスクリーポンプ。

【請求項 8】 前記ベアリング支持体は、ポンプ本体に直接取付けられる、請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のスクリーポンプ。